

## 「瀋陽ゴルフ事情」

9月13日、第19回瀋陽日本人会ゴルフ大会が開催されました。私は本大会で2大会連続ブービー賞という偉業？を達成しました。「えっ、瀋陽でゴルフ??」なんて思った方も多いのではないのでしょうか。現在、瀋陽にはゴルフ場が4箇所あります。老舗の「盛京国際高爾夫倶楽部(ゴルフクラブ)」は1998年開業ですが、そのほかは2007年以降に完成した新しいコースです。プレー代は、結構高くて「盛京」だと、ピジターで1200元(2万円弱)かかります。キャディーフィーは50元が相場で、プレー後に直接「球童(中国語でキャディーのこと)」に渡します。瀋陽では、ゴルフはお金持ちの娯楽で、いまのところ社長クラスしかプレーできません。ですから、実際にプレーしているのは、中国人より外国人(特に韓国人)のほうが多いようです。1回だけの「お付き合い」で始めたゴルフですが、「ブービー賞が次回幹事」なので逃げられません。コンペの準備はかなり上達しましたが、ゴルフのほうはさっぱりです。この冬は練習しなくちゃ…。



瀋陽事務所：正司 毅

## 「オリンピック後の北京」



あれほど賑やかであった北京は、今ではすっかり観光客も減り、ジャンパーを着るほどの寒さでもうすっかり秋の様相です。不動産価格も軒並み下がりが続き、8月に入った途端にオリンピック以前の価格に値下がりしていました。オリンピック期間中は中止せざるを得なかったビル建設もようやく再開しましたが、北京郊外に建設中のJUSCOは期間中消防の許可が下りず、結局オープンは延期となりました。株価も暴落し、一見中国は目標を見失ったかのように思われます。しかしながら、オリンピックがなければ、あと十年は開発が遅れていたであろうと言われる北京。ようやくインフラが整い、人々の意識も外に向かい、年十数%で所得も上がり続けています。中国はオリンピックで終了したのではなく、ようやく外資に依存していた経済が内需に向かい、今ようやく発展が始まるスタートラインに立てたのだらうという意見もあり、個人的にもそのように実感するのです。

北京事務所：坂口 秀之



## 「安全な牛乳??？」

最近の「メラミン牛乳」事件以降、牛乳を買うのを控えていましたが、先日、近くのスーパーで「アサヒ緑源牛乳」を発見し早速購入しました。これは包装の通り日本のアサヒビールなどが、山東省の自社農場で、飼料、乳牛、生産設備など全て自社管理した工場生産した製品です。

言ってみれば「日本品質の Made in China」と言えるでしょう。価格は20元(日本円約300円)と中国製品の約10元(約150円)に比べると高いのですが、安全には代えられませんし、日本からの輸入牛乳が40元(日本円約600円)近い値段で売られているのに比べれば随分割安です。折からのメラミン騒動の影響により中国各地で爆発的に売れているようです。

中国製は一般に日本の牛乳に比べ「水っぽい」感じてましたが、この製品は味も日本で買うものと遜色ありません。

「安心・安全」を謳い販路拡大を目指す道産品にとっては、強力な競争相手が出現したことになります。

参照 h p

([http://www.asahibeer.co.jp/news/2008/0919\\_2.html](http://www.asahibeer.co.jp/news/2008/0919_2.html))

北陸銀行上海事務所：南 敏律